

方亭應賀作

作題曲多國島

上

~ 13  
3785  
64





門へ13  
號3785  
卷64

やまを  
端のみま  
守り痛  
上のもえ  
恋かえ作  
國貞画



人形町通  
上お座まらば取

六 一 四

釋迦八相倭文庫三拾二編叙  
夫一見於女人不離三惡道水結三途業何兒於一犯  
定墮無間獄一有バ女人煩惱の源地獄の使也一度犯  
れれば五百世の間彼れ隨て六趣の輪廻と毒蛇の見とも女  
人を見ごと又狂文の中説れりされども娼欲の止がえと一角仙  
人四目居士大樹仙人杯の説と視つべし凡流轉生死の業の只  
邊の依りて然る勇む春の野の身と捨ひ且秋の麻の糸  
と生るも自ら是より係れぬ茲に五々の菩薩の第二勢至と娼婦と  
變せ何難可難の煩惱心と自然と改止せりあし聊彼盛遠  
と袈裟御前の譚と因縁了り是も亦方便本と云まくの事

嘉永八乙卯年孟春發行  
万亭應賀誌

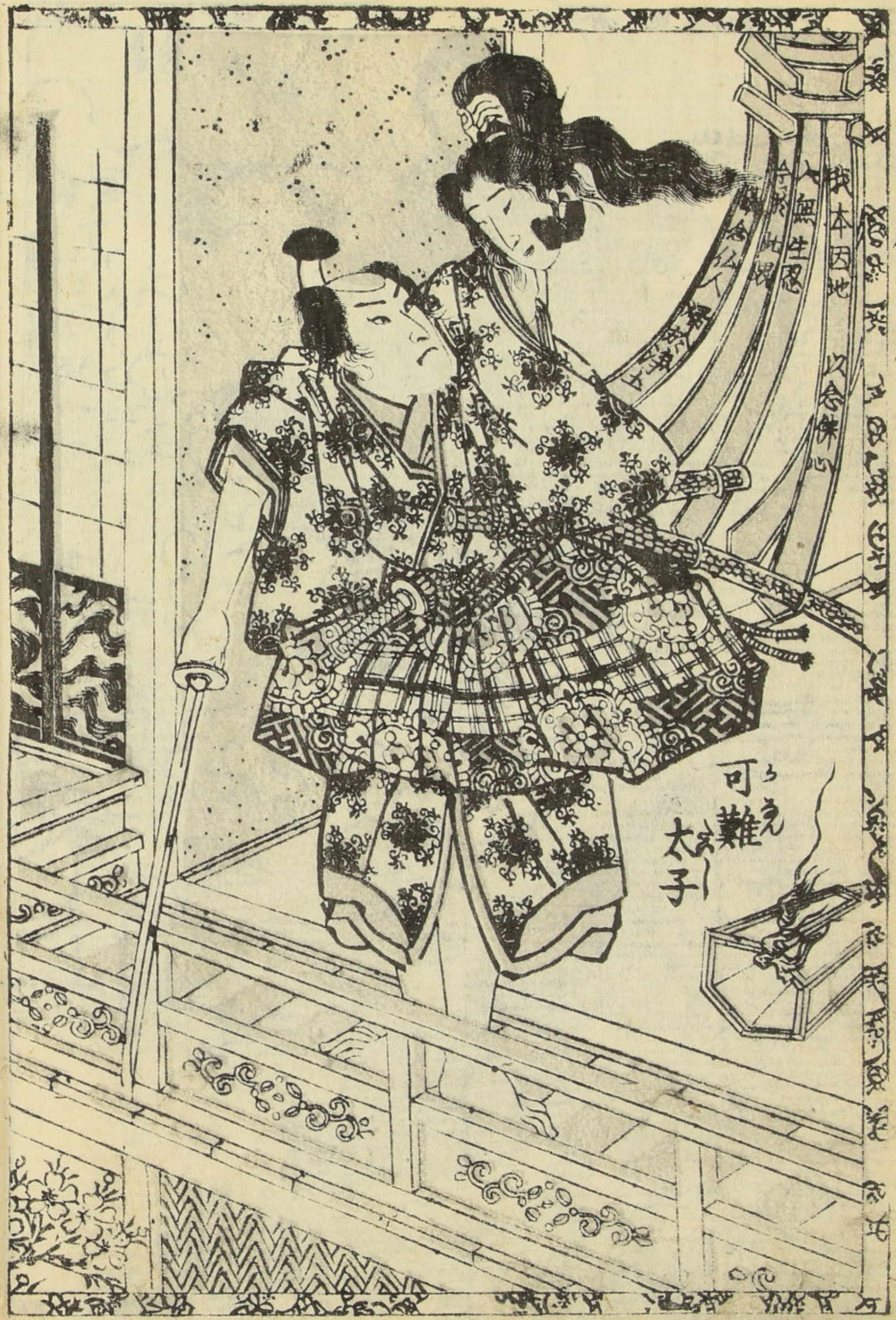
卷之三十三





信方屋三



































嘉永八年乙卯春新板目錄

倭文庫

三十編 三十一編 三十二編 三十三編

万亭應賀作 一陽齋豊國画

重の井菱染別小紋

四編 五編

為水春水画

昔語小栗實説

二編 三編

松亭金水画

花山吹百人女郎

二編 初編

柳亭種彦画

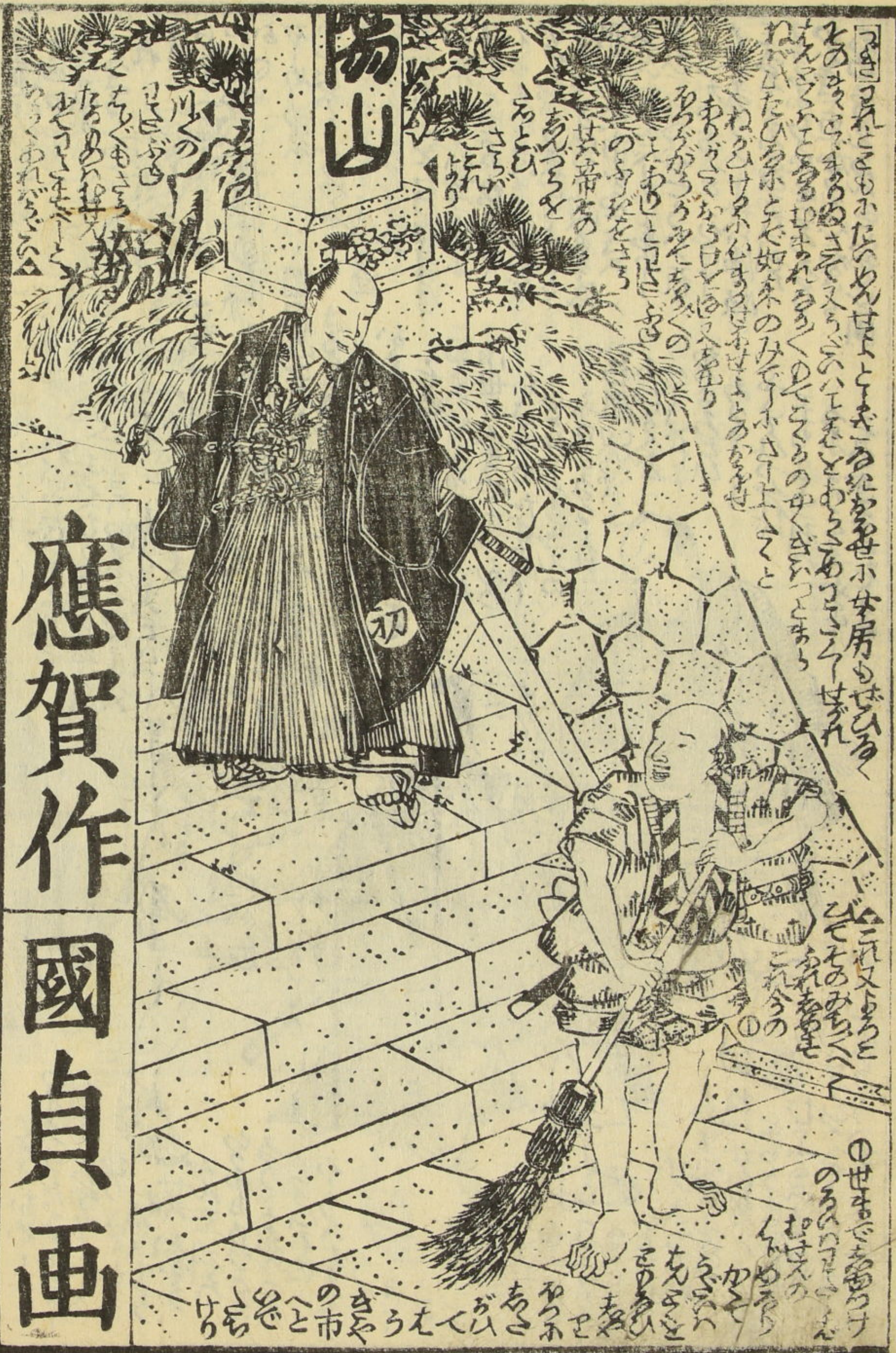
大寶御江戸圖

極上摺奉書六枚半續

常磐津懷中本

初編 二編 三編 四編

重繪艸紙本類 上州屋重藏



應賀作國貞画

倭文庫

陽山  
此の世に...  
初

世に...  
陽山



